された。これは理論に徹する機器一般に於ける生化、弱害を似として、るが、風感を測定と仰言、腹条に

いけ心は、電気の上にも果敢な「無後の土無反響の組命に胚身する

斯くの如く強い日本人に驚躁の眼

せて、その間に影響の響きに伸き。珍様で、微響で、黄色に肌。とかして地方に影でのものを分散。れを分散せしめることは不可能に集なるうらに関した影響に伸ぶさ、からはばならぬ。科學を、女郎を、るとこうを知らぬ態態に腐み、同 繋篭でない時に於いて、影響にと

彼等はいまそれを増しとげつへある如名ものを興へて眩縁させ、

化人に思るれた思楽さる低勢に

決開なる彼等にたい観音様はしめ

行るのは誰か。勿臓文化人であり、

内地に於いては、都曾のといま

らゆる物質が不足し人的資源またば足りると思ふっ

この理想を管現せしめる島には、地方分散の貨現ともなるし、其處

な漁坂、見下せば足もすくむ千仞

各山脈を縫つて超伏する鉄貨的

期神の現れを巡修なく現はしてゐ

ングル、道なき道に虚取男士が砲

微観の地だけに訪れる者に一般関

しても暗るならば、そのと自微が 化人が働くと共に、一人の歴民と 面長、邑長として都會にゐ定文

じると思ふ。レかし、今日の如くる。周から五萬程度の為霊都市を持て

るも、民衆食は悪パンと感じ水

なってゐる、建川前大便の話に

はず機能活動を浴むせ、多数

わが防患硬火は適らに猛然

職は廃更に租借地内の住宅區 皇として東北方に撤走した、

語分野へたことは米空車の非

人道ぶりを明かに示してゐる

てゐる、一年前の暗い影は戦争と

郷が長び戦場になることはない

住民は誰も彼も『もうこ

を行ったところであるが、到る所

だ』と明るい希望を優いてゐる、

る、酸酸は地形の利を占めて巧い

な戦地を繋いてゐるに反し我が

交へてあるにすぎ深いので危機

の※室軍は今は全く明朗化し 時年カーチスピー四〇連八機

が、これを見た他の敵機は食 然ら黙慰を叱きつく魔走した

書もなかつたが、無防備の安 域を狙び、人心機能を企圖し

たものでわが方には何らの祖

安南人に不法機銃掃射

惡虐、廣州灣來襲の米空軍

般住民は生れて初めての爆撃 見られるが、廣州数一群の一 つたもので、またフランス側

無土戦弱にあって朦朧と化した村

で帰かれば蔵を失つた住民達は、

への腹極せをも含めだものと 2ので送に平和郷風小殿を**製** の不甲斐なさを輸店されてゐ

四東七日同盟 九日午前十

ふ言葉で、文化人は膨しく批弾 と類響を搬って竜巣し、断兵と前ひとこう [漱白書インテリ』と 響き真る著葉文化人であり、ベン

姚曉をついて進撃する象部隊(震)-電送

第後から大東亞戰爭へと大きな登 手は白旗を掛げるより外ないので

工作の上に押し

るのであるといっても、社会に、

に向へるには難へる面の数十倍が

戰時に文化人の負ふもの

こその中心に置かれ、また治導者 領地における軍政下にあって、建 於いて、もし徳憲

設に皆ると共にその地域にある原一館で米英の世へかものに劣ってあ

るとしたら、彼等の信頼感は我等日本的なる壁と聴覚と子典へわば、だけの仕事を終ての文化人が露々

| 歴 於いて、もと徳宗と與〈たちのが う。 矢騒り、懸に於いて宗真の領。異に拠するだけの仕事をしたがら、などが都會に大変高級を送してゐ。古 けんにぶらはい。 平舟時名の日に「者でなければ、理默し懸いで「ゆう」 きであるから、文化人は今日の必 下にあって、諸官師、墓板、工場

へ得之態のものを競へ、そのとと、 なぼ所へねばならぬ。果してこれ るのは甚乏危険であり、その危険

をおもんばかるが故に十二分の節

|日本人と同じ戦闘と信仰で言うさ、主義自信をおりれが聞くてあるべ、受けぬとも限らぬ繁殖した情報の「て「都會にあるものは 分額出来な しんば、そのうちの一部装み期待 るばかりでなく、

何海が何なる時に激機の空襲を す仕事であって、この恐怖なくし

であらうとは期して待ち得る。よず配白きインテリと

がこの内容を形置し面目を吸めるとしてあるならば、彼等は相違らもし、映画に立りをはよって地方に過去の生活に激し、砂舎に懸々

としてゐるならば、彼等は相違ら

る。これは種を再く前の、脳を総然地を作りあげることが必要であ

趣的なるものへ地方分談に遡する うであるが、これらの人々が指導、意題を誇うことが出來すして他らが、當面の問題としては、中央集 地方の面長として味噌整然したや 文化人が、このやうな旺んなるが、

戦に肉激して行った思ひ出の威跡

文化戰

恐馬う

しい草木が生ひ茂つてゐる。我々 にはその一歩々々を印すが如く新

などが都會に大道高機を接してゐ の人口を持つた都會を作らぬこと

であって、京成の如きも、これ以って、その方所に根本的な錯誤が

の別外に立ち去らればならぬ日に して、高力を結集しつへある國民と意威しつへある職業の孤職者と

ジャングルの中に荘厳に立ち、に

**八善アテナイン** 

~

一路下谷部隊 三村成三

CMと交)・山口逢春本

それは人が働き得なかつたのであ して

い。我等の理想をいへば、廿萬以上に反する成績を示したとしても、

上には膨脹させず、電車或はパスあつたものスやうに著へる必要は

ある否は観役の悪りにおい

B水元。高地、西並乃至攻鱗組、 住民を視取させ、進んで建設に協

送祭に 於いて その中間的役 カナるまでに<br />
夢いてゆくのは、女 の上から<br />
芸者に相談ない。米英は

日が來た。順う被害は文部事職の大き、無疑問に耽きかけて了へは相得るものは、文化時代人にも、超り上りて得名を含さ、こ地等での影響は被線を意味し、心心無から是にさ

陰心しばつて堪へてゐたやうな文

風に吹き磨されながら、盤を

テリのだぐいではなかったのだ。

る際語で持ち得ないものとしての

であった。しかし、よの含念。正に改築と雖ら或なる落白きイン

をむけ、そのことに ンよって日本を監測型

に攪亂したのである。

高した家軍は、同地方哨戒中の敵

はく衝突をなしたが、その

ドイツは勝ち続けてあるものく

後の中に倦さこまれ食品の多

い國で、小婆は六十数パーセント 金細的には相当音響してをひ、

一、三月廿一日衆軍債級隊はナン

・東方地域において新一般中族、る質報をが、ニューデーリヒ來電・非武嶽地震の意定の意味さへ一部、三月廿一日紫重像家族はナン一藤宮部族の蒙壁に奔命に避れてあしり、既にこれが進展して瞬國國教

れる建設振りを融象した

最近深空軍は軍廠側よりそ

ぐへとも

まは深蹴とした職場に依然と

る、ハリマン州鷲の所在地である

の姉く地方事間を設る

入京した金村全北州京

は、つ言

かれるが、これに朝鮮から出席の 血数をおきいよく・十二日から開露は成力増産、國内機能の整備に

【東京電話】決蔵下の地方長官的

東京で語る 金村全北知事

ところ、一年前星軍男士の際にぬ

跡を訪ね、バタアン攻略戦を偲ぶ を追って戦つ之皇野男士の蘇戦の 黙とジャングルの中に米比重六萬

アン年間に入る、ナチブ、マリベアン年間に入る、ナチブ、マリベ道は頭のやうな山田単ệたるバタ

派説反循軸軍は盟夜を分たぬ日本

も見られるが、平穏そのものであ

イスタンプール十日同盟】印度 | るに至りドクー越格の施政演説に

形蔵に大脳響を甦へてこれで配

グリーも、もともと食桶の足りな

アフリカ、取度、南米に依託し

共同作戦軍發表(十日年)のは少数の死にを過過してパンコックテロ同盟)日泰の郷と激調、戦闘は悪時間以上郷

て過走、頻節は聴原四名を出せり

英印軍、夜間

【ハノイ特電十日發】蘇

た一周年記念日に営るが記者は響けてン半島の米比重が全面的降伏し

強って燃火と酸く関民の変を新し

い感激をもつて脳めてあるうちに

くなかつたが、今は全 されて悪意を抱いてゐる住民 た、職争直後は米軍の貨幣に遂は

く平和に数

關係深まる

佛氏間の關係は最近瀬次飘善化す

戦闘機を使用

泰軍、掃蕩戦に活躍

基地において日本軍に對し作取し

てある旨を被表したと既

ポーフアイター』が印度の各会部 よれば反響輸軍司令部は十日夜米

空軍の夜間戦闘機「プリストル・

想出の戦場に平

和

バタアン半島陷ちて一周年

山麓の平原地帯地にサマツト山麓

メンより<br />
敵大軍を<br />
迅速し、ナテブ

バタアン戦初期の頃は屋

住民と明るい像矢を

パタアンに客はないが住民の

学の人々は、すれらがふ

建設に大童の住民達

瀬洲を思はせる一面の中部ルソ | 共にパタアンから吹飛んでしまつ

頭が下る道民

有利な立場にあるかを巡すること

が適当、九日早朝チツタゴン南方の反馈戦重派行場を激襲した宮十日後表した

殘敵を覆滅

イスタンプール十日同盟] ニューデリー楽電『印度 派蓋反隔。戦軍司令部は日本航空部帳が八日に

"

B

も爆襲

でもく欧洲全世が在外

世界の戦争國々に襲べて州印

(版內市

5の総職大規模の職一「日語,日解陳監役に係婚問題は一時にぶつかり,而も期間が頒かつ」の不足若と戦争は食船不足

明かとし、ひるがヘラで『わが日本な熊嶺不足の園では「既じてない、金瀬不治末國である』と関後して國民一既の法

すれば食物が不足するのは音然の ってゐる、膨胀が擬大され長期俗。 なささったどと彩へることがましか。 とであって、今度の販争がはじ

像別第三第一一年十万月二万年を

五年に一同産界的に來るのであつ

足、動力線の不足、寒による腱具 いるとは監然記るべき自然現象で ともなれば、その間に米の不作と 一般、 更に大東県最少と所別登別版

ってゐるといることはまことに る語であったが、今の程度に止ま

ひで、自つ意はねばならぬことが

すれば、もつと食糧の困難を必ず

置のとこる、これだけの厳美

策と組織なくして長期間は成りに

食糧溢る」。日本 眼を注げ、不易、海の幸 オデジャネイロ深道リブラジル外 例士の杉大さは、生配地と計費地 一語であ越アメリカと謎も、その との途域を來たし、これに對しゴ

のの映画による最語食品の生産原

はず食器の不足困難はその度に多 少の語こであれ等しく苦鬱すると はアメリカにも食糧に大きな番 かく関すれば、世界各國、戦ふ づれら私一個の私見である

むてある。現に今ごう

弘光養の間「清預が、肥淵を興へすして、これ」には肥淵を興へよ、第三には師鴻「た蟾多難し、脳繋派姫底などによ」 つて、前もまだ十分なる餘俗を存

て身を以って態験してゐる、第一次歐洲大戦におけるドイツの如き、食糧問題

【東京保証】『熊拳と館鑑』この問題

ころである、これに対比してわが一年たる今年は歌作を愛は継続する 前年度に比し、廿一パーセントの 先づぶについてはどうか、気は昨年米 ものである。六千六百七十餘萬石 が風帯な恐作なりしが故にその翌

ているので、語うじて支へてある る版に思ひいるならば、おそらく 世界中で日本くらる食気的に最も なの飲力のもつた。正であって、 まだく大きな切り礼が残ってゐ わが國の食糧問題 **循棋を**南方に求めんとするも数國 のゲリラ作威による巡路が認は本 らねばならぬのである 内紀を<br />
夢回するのである。<br />
これが

平派から最低級の生活と夏致され

温が記事されるが加きは金属し十

だけの増収をみたことは、辿力の

か、その膨脹を述べてみよう、い 今後炎が日本の長別作職に對し 依存することにより終大にして安 悪ります國たるを思はしめらるる 定不動の食福贡家を四面蝦海に見 思へば、日本は近に思まれたる碑 如何に歌じ如何に具現すべきか、 然らは、その食御不足の對策を一的資源はいま過剰にして勢力の不

ものがある。それは水蔵海の華に一動をふりあげて耕作に從ひ肥料を 出し得るからである とかく食器の増盛といへに第一

には必ず先つ土地を興へよ、第二 日、二百廿日の製風雨あらば、 時に北に浴室あり、また二百十 かは洪水、日照り廿日海かは電腦 一朝天候に墨岡あって雨十日流 施し、あらゆる施策を説するも

題る安定国常である、常局が増甦、足を來たさず、しからその生産は 指導に吃吃飯のし、農村諸君は飯 た励烈も、その異なく、維村の人 に依存するの必要は運に切實なる き秋に於て、恒常不易の食糧資源

日のためといふ名目ではあるが参 ヘーアン氏は ※在留側取人の

を観印鑑から鍛入また郷印鑑の欲一品の交換の歴度を目標としてゐる一で『『フ』に 単章で リオとられて『『ことので説の歴度を目標としてゐる一で『『フ』に 単章で リオとられて』と

に適議されるに至ってをり、これ に對し蒸戦としては國内不足物質

る物質の輸出など物質交換の經一

北阿戰線戰況

ジェペル・エル・パブ周辺地區で

は脳臓災集中砲火により戦車が飛

しなく戦落し無ざまの炎

で膨して

酸の職業武器の多位な

英陣地、船舶を粉碎

元鷲
東南地區
を連續
猛襲

クー總督に對して交換物質の表を一

更関のナフ利土とおける。英國の職職を破職、さらにベンガル州東南地區における処職職地に震闘を加へたといはれる。英雄はまたマユーの関の大力・以前の関係を決勝して日本軍の国の戦争の民態影響を待っばかりとなってある。事業の高級と議師となってある活義だが、反抗機能を引う合いの意義とよれば延延直続調像線は同方面の電影によって二級を観光したといばれる。英雄はまたマユーの関う合いの意義とよれば延延直続調像線は同方面の電影によって二級を観光したといばれる 【リスポン十日同盟】ニューデリー來電=印度派遣反傳經貿司令部の遼裘によれば、日本航空部隊は一九日職嫌選合をもつてペンガル州

の再開といふものでなく日常必需 これは熊印、家國間における変易

部開係安治が要用されるに至って

提出、その質現を要認した、加鑑し致な反響により防傷線突破に失敗

米英軍退却

陣地を强襲し來ったが脳軸軍の果 ル周辺およびジェペル・エル・

リスポン十日同盟』モロツコ版

絶する我が皇近の領陣力

伽を整へてあた米取ら、

チュニジャ沖に空母

てゐる、まだとれだけ出てくるか

て開叛軍の支援を受けた米英瓜は 九日ピション・ジエベル・マンス 「リスポン十日同盟」前級報道に

巧妙な撤收作戦が流行されてゐる

すなはちピションにおいてはそ ジャ作職に皆ってゐるといばれる がチュニジャ沖合にあり長距離機 を飛ばして関上空軍と協力チュニ 差によれば反脳・眼節に発性性数数

年度更に酸烈の度を加ふべく、従一るが、海に至っては、絶對に土地 ってあくまで自國内自給の策に依一を必要とせず、肥料を要せず、ま んぱその増産は期

力を致さればならぬ、全國的に野

これに加ふるに野菜の均産に

菜の中依然大根四十二%を占めて

第力を撃すならば大概に代ふるに 『電腦不絶表閥』である。同じ土地、同じ肥翔、同じ 本は『電流の不足 例』で

ジャングルの中から流

れてゐる

あつた

監夫春藤佐 修二浩野宇

した言時

さしめよ、と強人の象状があり、一体飲を必分に包織してゐるも園民の嗜好に投ずる似あり、海を呼ばくよ、頭に臓民を惚析に役職しりあらゆる勢力は水道に贖するのの竜の食中に埋まり、また不禁量 の前に、甘受屈従を除儀なくせし かくの如く、人力をもつて如何

あるひは又、外國食糧物質の緊移 ら問題はないのであるが、現下の 人の容易にして可能なる場合は何 で以て区民主食を充つることの危 の施策に比し容易なることばかり

率ひにして日本は四回環海、海一 不變の食糧確保

きである、何れも地上図製生蔵、これ等に强力なる重點を指向すべ 魚の製造、魚粉末の生産配給など 配給、漁具の配給補城、更に壁下

こそ、この秋である。 せぬこの海の幸を活用配捌すべき これが方策としては强力なる水

概動草を以てする方が遙かに野菜

久松潜一・佐藤春夫監修

雅川

00 · III

0 元 深

同機関の増建修理、燃料油の工面産増強の中央機関、近海漁船及び の生産は俗然波型草級の野菜に移

置に食風不妙末國である、昭和十 的に食物不足図では既じてない・

作恐怖病に罹って、負すりや鈍す四年の米の不作以来、聊か食服不 東海岸より

部ずれば日本は世界いづれもの國 施すべき策を施し際ずべき臨訟を て山中に戦大した水中は 道路である、殿師信庫派 パタアン初版路は西海 道路の左側一帯には我が 一部の場合にいる。これの場合にいる。これの場合にいる。これの場合にいる。

的効果を駆け得るものである。 る消物の減少に思び到る時、大根|鄭展は米軍が自ら師つた だ、星軍はこの逐穴を踏 み越えて削進したのだ なくなってある、しかして

【典古本日譯代現】 資發日十二 蜻蛉日記。更級日記

も戦略にうたひあげたる神品。高級なる古人の人間記録主訳め日本静図の精華ともいふべき、平安女性の内面生活主義々、前 蕉

集 岩田九郎譯

第9 一覧田静市安全 80一五四京県高景

野石東老年に就いて

岩崎良三澤

◎近代日本文學作家論 (全六冊の中) カテイリーナの部分し

明治文學作家論上 月中旬發賣 點頭人 西山區

-

館

長距離通信教授 は、 幾方月客に居ながら単位の後頭にあつて学ぶと同様に草力の観音 自宅修學 最短期間資格獲得への確實指導帝 國 綜合 學院 最新式 講座 座開始

+ ---= 8

上野櫻木明三九 通信教授 帝 及入學案內需進呈 國綜 合 

吳清源 新刊 不谷實新 名人の 名 剑准 八十親を公開とれを二百船に分領併解しなる。世名人が最近大手合名の他自身の劉局に反ぐ 白圖(max

合 新 記 錄 准 Ē 石

第50mmで成立。現代表の新市品を選ばせられ、一個で乗り斯文 館 第50mmで成立。現代表の新市品を選ばて、一世の数を選手品・開発等である。 1 世界を発表して、一世の数を選手品・開発等である。 1 世界を発表して、一世の数を選手品・開発等である。 1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を発表して、1 世界を表現して、1 世界を表現する。1 世界を表現する。1 世界を表現して、1 世界を表現する

大東亞統計叢書 8 三人族 唱 三回

# 調 即 即 3,20 3,20

早 坂 - リ 昭禄 A 5 同二〇日韓國 僧二・五〇 号 暇 地郷 人の門二〇〇員前場 個一・〇〇 東田町諸島の地質、臠産に関係ある者の不可快、愛考閣 東印度群島地質論 太平洋諸島統計書 

既 經濟の理論的分析 日本的生産 擴充 の道

▼工場神社・震響・水平本大平本大平本大平本大平本土 場神社・震響・水平本本本本本土 産 視察 記 全 男・本 は 8 ま 本本土 産 視察 記 全 男・本 は 8 ま 本本土 産 視察 記 全 男・本 は 8 ま 本本土 産 税 を 130 に 整備兵の支が山口遂奉

ためにすべての政策の団滑なる遠行を阻まれた、常時の建設工作の頂駄は強制供給の顧保 に把握してゐるとはいへなかったゝめ、作眠の動きは行政財貨更の心理的に反映し、その

とし共衆関建設の目的に動員され

つくある。これらの消裂はバタア

れてゐたこれらの領衛政権はどし

學校教育の再發足に望む

ある。かくる感校に於いて、モ とする同様の熟意を敬辱するも り、若々しい意気が見道、生徒

世られず、徳らに硬化証狀を昼むとれず、徳ので観覚が観音の生活の中に現成 他にして整節派告を留まれてあ る。世にいる教育者に生象之 正、頻度、穏峻は数官者をして

それら戦情者は、この四月の数 質攻寒については、一般と重整 質な寒については、一般と重整 数資者は関策にして中正、領

機を避けてゐる数拠があると問 今年の見流に對してゐる先生を く。また昨年の方法そのまくで 十年一日の如く同じ昭襲の路

見る。それらは先づ敦育するこ

比島軍政の新發展

党攻略一周年の成果

心間するならば、常に修築が祖はれなくてはならない。既實を 式れなくてはならない。特殊を 然りである。かくてそれらは とに膨脹を喪失してゐる談言の

るならば、かゝる教育力の政部である。 日本が如何なる戦いを戦つてゐ 見遠、生徒、悪生の膂を見、そ 従が、既生が島國日本の次の時 しむべきである。まして現下の 設置者である。 英に一人々々の 成、敷授法の根本的政革等が行 せられてゐるのである。一 もつてするならば、その修案年

然の路壁を許さないものが要請 ふ教育機関にとっては安易に哲 朝鮮教育令は、夫々の學校共元 り他ないのである。ことに於い ず、その欲称の審査決定に正鵠 使らに消化不良に陥らしむるよ ってするならば、唯子弟をして を失し、方法に於いて開発を以 州の知識の注入主張を離脱し得

**育著自身館りにも不勉强ではな | 務省に開き、明つメミ三月第**1

目を開催して代表的工法六十案を

各河川工事、ことに災害は留工

見ばしむるにある。単校は敬授 も學複数質が語るべきは、敬授

力でなくてはならない。頭に力 そこに日本敬風の本領は確認せ その他を精密に開査して一層記 五萬國を計上しこれが極化の狀 事について极力拡戦する一方数領 法は簡単に云へば加藤清正、武田

社長に迎へられるのではないか 製パン工組 は竹、群木を主とし、柳、芝などの

日本確念振興は本月来吸り解散帝 解文化は五月一日より主國鑑達支

道單位に改組 成者をはかり河底にある石材と結 順應、早急決定すべき必要に迫ら 爾四月上庁は朝鮮としても内地に

文配する地域は他が敷州で、恐辺、脳落後軍政一年の成鬼は総内交通 |全貨制成り既に昨年秋以来高量広比部行政府は成立したというても |をあげ、今日に至った、パタブン |大の新山たるマンカヤン横山の完

あって、バタアン、コレヒドー

度は難くの外はないが、これら同

流金浜製の整備と共に武報の如く 長に西岡氏か帝國鑛發支社

第10 郷山たるカマリネスのヒ

上の蛇脈は鰯線を酢脂肪

日本土木の飛躍 優秀な新工法を確立

る 加へて 新工芸を察出して 日本的
た 土木科墨の側葉を期すべく地方際
で 土木科墨の側葉を期すべく地方際

一名をもつて港内の全長官と対し、一部は八時半前相官邸に開催、この一等上する、また正午には密別の忠一の英震に默認を際ける、かくて書

る棚梁を比別人の手で自主的と

一ラの消極的生態をやめて積極

地方長官會議

決戰重點的討議行ふ

幽災の再縁成は先づ最大の厭た

職の決意を披露する重要訓示が行 か加藤派兵司令官、新貝羽鮮巡督 日整内の光祭に浴する各長官のほ 闡明して大東亞厳等完造への不逃 **增到政局長、韓邊台灣總管府總務** 

湖すものである、鉱山の開発は最一太三阡四十三縣の各地方長官およ。後にわたって順次地方郭明を委職

和平攻勢

獨ソ講和說

第一日参内理認の背離を御沙汰を

密府台北州知事ほか二河ぶおよび 忠弱南道知事ほか三知事、台尚深

**华松村東京、曾我三重、宮村廣局** 

特に御陪食の柴を賜る御豫定であ

いよ十二日より十五日まで四日間

無した土居新潟、町村富山、田中 創九時十分打揃って宮中に参内

韓國神武へいづれ も各プロック

石川各城知事をはじめ北海道、欄一天墓壁下に拜認仰付られ、午前午

紐育株式暴落

思ふ。元來をしろきものを

桑苗確保のため 業者側が値上を要望 の 姿が 質現されることに ならう ぞ決 戦 投資精神の確立へ!國策に合致せる新しき 大原思表 い。和名抄には、之路販毛能を を持へてみるのも無駄ではあるま ある▲そこで白粉は何版から來生 らず忍び化粧で築しる に白粉を顔に塗りたく ふ。横だいへいがけで





開公日

で 大きな (大きな) (大きな

金比島四十六州に及ぶに至り比

て狙ったのであるが、見事に失敗

島の無談を一時に輸送することは

洲の軍事専門家の推薦でさへ悉く

既の兵力を送るためには四千萬昭 脳の兵力を送るには二千萬頃、百

るから、假にこの上第二頭線を置

えてくるものだ、これ又デマ放送 だもらしい情報であるかの如く開

なるか――この問題は掘鎖するだ

き次の三事成である の前提として湾風に入れる必要の 足りる、ただここにこの利の拡減

ところで果部脱級の今後はどう 今後の東部戦線

艦動を來したイギリスのことであ

現しなどと過してはそれなくなり となると事態は「ダンケルクの呼 英側では「ビゼルタをして個級軍 軍の攻跡が頷いてゐる、そして米

ケルクたらしめん! などと

北アフリカでは依然として米英

阿 戦

1 一部に出ませて 1 一部に出ませて 1 一部に出ませて 1 一部のを生じ取大な縁地を破倒した 1 中心はならないだらら、右につい 1 中心はならないだらら、右につい

これに相願する装飾を送るためにるところによると、十萬の將兵と

人皆り四十幅の計算で、若しこ

である、米英原原原門家の計算す は関係を持つてあるのは船限問題 窓の企闘する第二戰線と至古

> 鼠を與へた形である、敵級の動き が止まると同時に、今まで欧洲の

> > つかむことが出來るのである『歌 を見ると相当はつきりその正際

めちこちからチラホラ聞えて來た

いて殆ど際止してしまった、いは

東部殿級は局部的な小に戦を除

彼等は自分の敗北の時期を早める

イツの歌力下にある小國であると

殿に出た場合、米英領の計量に

クとはまるで選び窓間な一大要







商業登記公告

所有的。 可有的。 可有的

聖職員 | 湯泉が昨年四月十二日的時間ニュー

はこれをつぶして、ただらに陸稽と誤解を確請し

ム、職等、履粉、鬼等などと前妻し鬼に悪変のコム、職等、一部からは節(生ソーダ、職敵マグネ・シューム、職をマグネ・シュー コア郷子の質からコプラでとってコプラと前性ソ ータで石鹸を大部に拠地すべく施設を思いでゐる

あるものが多く、脳形が永年にわたってニューギ

で東京へ日本語の研究に行くといる希臘に燃えて

郡研究感が聞り、

殊に青年層には動いてその貯金

たてくゐる、之がためインドネシャの間には日本 本式に訓練してこれをそのまゝ建設監の第一線へ

限ら延期均蔵へ全力をあげたので、米一粒、紫果

一型もなかつた機関に、はじめて精神の国の関薬

はじめ、その他の地に於いても密報の用題を行ひ

ニューギニヤ〇〇にて十一日田中(孫)将軍輯

米、蔬菜も現地自給

皇化に甦る蠻島芸

の年周一駐進 譜設建きし遅

を指導監督して來たインドネシャ句民の約八部がパプア族であるから、

で二十四、大部分が称極を楽とし、

「野路」などの言葉を明決に話し、都落内に金樫林のジブシーなのだ、しかし『日本隆時

でもあると強いわが反除さんに関係して異なた。

は低いが足は素晰しく速い、このパフア族は全点 七つ道具を收めた脳袋をかけ、われわれより皆

各宮城の連ふめに直接指導は困難であるが、原住 の危険はないが、原出政法何心も無智な土族で

版の規範自給を目指し〇〇、〇〇、〇〇などにあ

が建設工可に協力してをり、ニューギニャは南

る、則に資鐵路後周査機械隊は密取を踏査中で明 強称とするバルプ工場が異然化しつつあり、すで

ーキニヤ圏こそは文字通り西南太平洋における第をが、ガダルカナル間からの頼進作威によりニュ 一般と化するに至った。阳岩は海軍特敦部隊に從

> ないほどだ、海濱の服婦能を洗ふ薄縁色の波、こ に近かつたが基地の意はコバルト色に登ら上甲板

をわたる原風はとても赤道直下のものとは思せれ

となってまつわれくの目を射る。

の〇本部に向ふ林の 中でわれわれは他の 一部で、路に聞いて來を人食ひ人種なのであつた ろと築つて來て丁寧な態度でわれくくを迎へてくたというという。

ましい場合を聞くまでは、この関係の領域が西南

管林の上室にわが海敷

れ野生のパナナ、ババイヤ、

整を確実してある、その中では極楽鳥が舞い 類別

を鳴ってわれくしをひっくりさせるのである。たのであらう、愛國行道曲や『おててつないで』

いふ摩朴さである。また最も文化の進

民の公邸校が開かれてわが観祭日に

華僑大會終る

次々に短距が下されて上陸戦闘が整ふ頃、酸脈

ーギニャに原地が上層してから早くも一年を呼へ 【〇〇語地にて十一日久恒海軍製道班員發】ニュー

く、これが具候化すれば建設工作は意々本格的関 在操破隊が置す地上地下遊泳の報告こそ期待 に木工場を開設木道船の大道建造も計選されてあ も各地所調に鎖握してゐる、また職大なる路林を

ニューギニャは選く故國を離れしかも最級が陸

この位置にあるだけに、低政府は借初から第一

あって、隣町の桎梏から解放された原住民も新 くかくも急速に展開し得たことは既に残くほど

民族なる感びに立ち上り、各地に於ける

二十局政府の選し差建設の振聞に対局として記

現地自給の役割を帰してゐる

君が代、歌ふ原住民

ア族る公學校

際陷の第一回收穫も五月下げと弥積され、

るた暗黒の賛同がこの一年の間にわがニュー 能してより早くも一周年を迎へた、阪前ま 台國を仰ぎ、十一日午後二時

墨德族女子登留歌の奉送、献茶墨徳縣員生征による法学の殿

献花などが行はれ同四時版画

土殿下をはじめ同大妃殿下の 在製は脱くも心熱人適宮朝融 元権の一千三百二十二年御忌

れて閉式、それより東京音樂

も、赤裸の姿頭々しく出陣する 人といはれる釘本酸次郎翁の類像 华島實家界を今日に強展させた殿

員しようといふのだ、毎日所取のの変通艦師に半島二千四日概を動

反子

の收

得者にいたるまで一個に脳繰して 脱して目らを死地へ温び込む不心 用する商人などから、赤管院を無くらるにも得て倉庫の場に無難促

正しい道の歩言方を幾へ循環問題

売地日陸地で

の運動と避る示す

じめとして映発館の雑沓に訳

道器察部と協力して味に學被兒童

学数を進ぶ京城の電車、バス

が列島した二時に防脅と共に全員、の献納式

こがとられた | なる一町本翁野頭

た、新しい縁尾の器リオル黒い路に後らせて原生

なきだに悪い顔は異味・聞いてゐる

一般必中の弓や、背には火打ち石その他浴郷

ンはまるで思見の手を扱るやうに

断版の我勇士の前にはハリケー

の際も、わが方が敵機に一躍を加

一様が競けるのだが、それが積り

教唆に分って密急任務についてあ

る、敵は逃げる方法を懸命に研究

逃げて行ったといふ幸選の奴が

闘ほど面白いことはなかった、自

〇〇中尉談 00日の成

見も角突然だっ

たい たい たい

二日から開く、物質機器に重脳を全難にかけての変通器機なけふ十

馬車挽き、街路を我が家の処長

お手本は京城から

交通訓練・數々の催

地下

に微笑む釘本さん

翁に代つて由縁の銅像赤礫

射つて來た・一千メ

してあるやうなので、こちらもま

る、敵機群はわが方が進攻して行一出してゐる

聖德太子千三百廿

川礁立侯の十七條脳法整讚・ のムち、久邇感裁宮、久邇宮

【東京館話】 塩總太子奉訛會 一年御忌法要奉催

二機、三月中(今月四日まで)で百五十歳をります「印繪<table-cell>頭第〇〇基地十日同盟】東部印度防衛の米が

リケー

も徒らにわが餌食

談戦奮の士勇隊部隼

○○部隊長談 | くと、忽ち撃を返すやうに逃げて | ○○大尉談 これはチー | 分が○千メートルの高度で・

行くが、ひどい奴になると三、四

ズの燃なのだが、何故こんなに空一〇千メートルの他の友気微と敵ハ

リケーンとの範囲を監視して、音 し舞び上つて來る敵機があつた ぬたのだが、除り下にはかり気を

後進者へ親心

を中心に炎學會の懇談會

て歌走して行く、三月〇日の醍醐一機を一機脚墜する 度毎にわれわ

ってゐる、以下立年部除第七の酸る徹底を第一とする颐の敗北ぶりと、わが影響の歌吟ぶりである の最ある、なかんづく嫁へリケーン歌謡機能とわかな歌謡機能との窓中歌は形にわか方の一方町勝利に納、三月中(今月四日まで)に亘立十歳をわか方により映脈版され郷地語の動態の群は今や鯛然たるも一様、三月中(今月四日まで)に亘立十歳をわか方により映脈版され郷地語の動態の群は今や鯛然たるも一

第五回聯

### 必勝態勢 全鮮に號令する大家族常會 **穷確立**

に認俗時第一意識地で繋載を帯らせて開催する、参集する理。 の一部の一部の大き版部質ー関政部が設置第五回地帯がして勝つ故く深線平局の総力を設すところなく意味、大上 年度豫領の記述に次いで下派上通の地方民心の動列を帰収し

よりの訓示、田中総艦の旅撈あって十七年度の募款概要の 艦躍総謀はじめ全員二百餘名の多数とのぼり、調減小数額は総獄所各居長はじめ各道五名第六十五名、在眺の地帯田

見事な敵機の逃げつぶ

ると話へ向きに敵機がこちらに ないので頭をがんがん叩き目を の前が質暗になって何もかも判 發して墜ちて行ったよ、数の奴、 ばりと猛動を浴びせると忽ち火を きつとこちらが墜落して行くのだ

與せんとするものであります。何本どしく御袋加下さらんと

一日を押して第五回金原民効息素を養を行ひ替く獨二記より網四級近の全駐使既幼児を表彰し以て思処下健康半局の概立に寄

第三日は十一日午後一時から京城

天地眼出張

スクを学ぶドナ 家学が歴典ラ苗 家学の確プを方へ

次百定命

能

すの運動

**戦戦がに京頭自身前は現實就被資本部制資を区園医職力類組織思達扱の下に國民制力第十七回会園景点深速活曲中の來る五月園民態心の尚上に写典から上國の責といせれる影動語の観聴地域はひいては間等の融鑑に真大関認があります。ここに毎日園民態心の尚上に写典があります。ここに毎日園民態心の尚上に写典があります。ここに毎日園民態心の尚上に写典があります。ここに毎日園民態心の尚上に写典があります。ここに毎日園民態になっています。** 





第五回

全鮮優良幼兒表彰會

查

規

定

(這代炎)を超出し中央審査會に報告するものとす中央事業會 中央審査會とおいては京場持載審選出並に単方審查會契告に係る幼兒中より最高度があるを全難代表幼兒と決定するを全難代表幼兒と決定す 联系成功是表彰者地方は各国航空課文は朝鮮低空研樂協中,2.1.方法。 哀城府內は京城日寝就又は毎日溺棗能內全名を金剛代漢湖及上徙至了。 通出前以 非对望的 等

> 代表は変々組つて熱心な的既を細 明備大会も備りなく終了した

男性心态

的管理での他が難げられ、各地

醫學講習生家集

賞(政務認施)第二位者

各道及京城府代表(各三名)全解代表幼児に入業

電音查 委員長賞 (奇政局景) 第三位省

各番省場代表 道代表に入途せざる者に対しては金鮮

機械の再帰成(三)整備人口助信が関係の再帰成(三)等間に適限する維備期間

ステリン

哥

# 第三位を決定し各々左の省を受験す。

## 審査人員、京島府五百名、地方道郷所在地並に之に率ず近に出生(郷二號から祗四旗窓)の男女効見

市込締切 四月三十日迄(但論切以前でも定員に達し

會交部内審査會短何も所定の申込書に依るこ、申込無料)

る児童の保健を目的とするため

地域代理店募集地域代理店募集

をよくせよ

## 最に於て、各巨名の最盛民幼見堂選出し他打審查台場。審査場を特戒審査場と一般審査場とに分ら各 過位各二百名宛

主催 毎京 日城

新日

内に地方審査會・追述會跟汉は朝鮮社會珠路協會這交部地方審査會・追述會跟汉は朝鮮社會珠路協會這交部 報報

社社

審査會場追而「京日」「舜初」紙上に遊会し、明心 後援 國 朝

民 總 社 カ 朝 鮮 聯協

盟會

問題資格者十六名に聯合を交付直 本年度繁製に計上、 変施を数 の無磁派導放置について京城市で 昭和十六年國民學校令の改正と

椎耳栽

ゐたが、九日正午から初の遊職

の資品を與へられたもので配配校 の機定試験に合格、訓練として に各國民校へ近極した、同訓戦

曼、応音部員、各田線開党員ら記、響楽は立論な辞域の野州線は所好 野蛭浩通で記行、古市時邦以下職、午飯書した、この部が成長すれば 豫定地談開町、南山の難に減く 區、樫、罹など約三百本で相及づけ正 ★第一部『日/出、南大門、周遊 三波、雅山、元町、永登浦各校 三波、雅山、元町、永登浦各校 河、窓等、校 簿記と珠算講習會

祀ので乗り込む者、右も左も舞へ 全力を挙げる一方、強ての個次と配いた配客則事の回数配減に死物 の物門には、空神造師の遺守等に の職堂で午後七時から二時間、海四日まで長谷川町の総督府園書館 から五月七日までは同語堂で珠質 能職物質を開催する、なぼ廿六日

なつてるた難沓時の鈴なり電車の 郷降には特に最大の往意を拂つて 中国から竹部に一般二銭と貯金し 警察官の赤誠

容能概念した

巨関がたらまち浮き























好い時期です 全が一番

ザオキンは、化學療法の異菌を發酵する有効根基を最も高率

止痛止腰し、像強に治癒に様く特長を有す。

痛み胸

100

淋 に含有する純正化學療法難であって、効さめが早く規時日に 婦人病 扁桃腺炎 50歳・100歳・180歳 薬店にあり 東京神田・アルス薬品部 高度の純正化學療法劑 吹 出 物

その他あらかる化膿性疾患!

10

どれが取れて くなる

勝三盟

京察生制城集徒士 

東 新 商 I  立っ上りざま隣家の総合の万へ での形である。金卉は、姉の足

励かなくなつ

して、睽睽に身をひそめた。

北んで行つた。

にかくしてあった漢をひき

金井はおど

地上と何か合闘するや

久、パタと、脳がしい別語言

場の既を続いてゐます。

どうしたのでか

され。さ、今何をしたらを関してゐた、白狀を数を接した。

入びもとの位置へ続きしのは

「AOも後らぬうち、全

玄米。完全消化

1100 B

**藤出する同社製薬品はアメーバ** 

制電女点文 日土 一の製 本目 学学ただ化。ニリ

危険なる尿毒症

高血壓に推賞せらる

行洋品藥本日報 金次與四數或四次數 由丁二內本面組本日的次度 医前部三元提出數數

1<sub>n</sub>10 3<sub>n</sub>40 6<sub>n</sub>60 其間

R外六種類であり、 卓越せる我が

白川温泉ホテル

大いなる祭

[118]

三芳 悌吉(繪) 中野

實(作)

なの?」

**が調だけだ**』

冷かに云ひ脱つで、落ち

(I)

らくじつとその傷の行方を眺めて

見の理能は……』

の決心がありありと眉字の間に

「日はないかの」「日はは

ぐっと 屈折する最後の 一

のマの大きの四

國心輸出される

京城西大門町二ノ八柳藤岡豪商

したものが初めて南方共築圏の國 **学感の製草を半断人の手で製築** 

借家交換

生 日本 と 新 和 と 八巻 の 神 兵八巻 の 神 兵八巻

南へ行く

つた。不憲を喰って白殿は、

るやうな落さぞ右腕に感じ

なにをする。

に外國品を確ぐ良樂が出來ること

泰へ向けて第一回の輸送を開始す に自信を得、敵々苦心が結覧し五 果、各種半調費生の疑章でも立確 たが、昭和二年突加半島の製象事 外國製製品の輸入販賣を行ってあ 薬に着手して以來研究を重ねた結

月中に遡転所の後級で先づ佛印、

### 入豆 浆 満洲から贈られる榮養食糧 決戦はこれで戦はう の登場

戦収となって決戦 件のために十七年

は何似であらうか、ここでは 合理化が 唱へられ るの

三流〇〇萬石の餓兢小変の内〇 |をもって立つ戯内懸然工製も十七 の代用食製造工業の一種間で のであるから製剤工具への物質が この中から三分の二を一般総領用

製粉工場が大豆米工場

大豆米はかくして食膳へ 大豆茶の大きさに作られ、又一部は京初大豆茶の大きさに作られ、又一部は京初大豆和が専用線で晒んと荷卸し合れ

二八工場(明観野新城合 資加 | 足を高から主要小姿蔵地の道が手を飛、舞園医教仁川、京照の | のであるが、空破の魅鬼鶏、食部不

底る部分をパンとしてみたがこ

か、製菓會社、集養研究所方面で感粉工場がそれぐく作ってゐるほ して試食され、市販することに

職域貯蓄は?

城府では管下各町職盟、會社、

組合の種類記入(四)職域・組合の種類記入(四)職域・

十七年度下半期の調査

ンバレルを持つてゐる、「戲館小婆」 力の牛塾を問る〇〇萬石、しかも た関品は食器への<br />
砂速を持つてある<br />
た関品は食器への<br />
砂速を持つてある

地化した大豆について椒酎してみ

豆和を越民が好んで食つてゐた事 質を知ってゐたことであった。

京日案内

遺で売り、出産率を見める、ドイ 結核を撲滅する榮養價値

も貼も相當な域に達して來た

めてゐるが、市販はこれで行くこ

環境を取風んであることは、 日ほど切覧に我々の日信に

これはフスマ代用となる、大豆粉 小婆別用四〇パーセントとなって

來てゐるが、置が問題だらう、ま

リーである態といる普通数食をす を膨してゐないが、大豆米と縮し 熟頭は同様において二八二カロ ところで 大豆湖に は膨張丸油

機和となり後着は翌年パラ和とな ものとの一頭りあり、形は前者が 一時間前から十分水に浸して吹く

いふ或る特定の時間に起つた

がものとなるのも強くないであら

合理化利用は一脳研究され、我

食物を奪はれ家畜が悲鳴 しろ概極的に人畜相剋を深めるで

タイピスト集 光八二四三関姫タイピスト學院一院場行御路二丁目四九 

森の秘密 界

音楽大進門を発表した

乳產腺褥

ス物道砧

フリント(闘)

基川日 工博学医 備完室院入線光× マンネスマン ニュース

日播游响玩

翻角田

一タイプ明 明 50 等 美 漫 才 隊

新橋芳奴と其樂園

結核を根格して 上院 聖皇 器





080

スト

100







